第1302号　（第3種郵便物承認）　2016年（平成28年）6月13日（月曜日）　週刊 循環経済新聞

ドンドンアップ

4万8179tのCO2削減

杉約344万本分の年間吸収量

2015年度の取扱古着量で

古着の買い取りと販売、リユース・リサイクルなどを手掛けるドンドンアップ（本社・盛岡市、岡本昭史社長、広報☎042・560・9007）は6月1日、2015年度に取り扱った衣類・服飾雑貨の総重量6403tについて、リユース・リサイクルによる二酸化炭素削減量が4万8179tになったことを明らかにした。「環境の日」（6月5日）を前に、環境省の「3R行動見える化ツール」を用いて、調査・算出した。4万8179tの二酸化炭素は、杉の木約3444万本分の年間吸収量になるとしている。

調査・算出は、同社が展開する全国の古着店「ドンドンダウン ウェンズデイ（以下、ドンドンダウン）」67店舗で15年4月～16年3月までの1年間に重さで量り買いした衣類・服飾雑貨4882tと1点ごとに査定して買い取ったブランド品195t（概算重量）、倉庫でメーカーなど他社から引き取った837t（概算重量）、行政による回収から買い取った重量489tの合計総重量6403tを対象にして行った。「3R行動見える化ツール」に総重量6403tを入力して、二酸化炭素削減量と天然資源の消費削減量、最終処分（焼却後の廃棄物など）の削減量を算出。天然資源の消費削減量はプラスチック類（化学繊維類）が原油換算で2100キロリットル、綿が2985t、羊毛が1139tだった。最終処分の削減量は202tだった。

同社は、国内の1都1道1府22県と1外国に69店舗のドンドンダウンを展開している。顧客から持ち込まれた衣類・服飾雑貨を状態などにかかわらず全品買い取りし、店頭で販売している。店頭に出さない衣類や売れ残った衣類もマレーシアの提携業者に輸出して商品を仕分け、東南アジアやアフリカなど20カ国以上に輸出している。損傷が激しいものも、ウエスや反毛材として再利用している。

古着リユースでCO2削減